

⑥4 ラジオ、ステレオの使い方

アンテナ	64
ラジオ、ステレオ	64
2スピーカー電子同調AM/FMマルチ・ラジオ	65
カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付き	
ラジオ&4スピーカー	68
2スピーカーAM5ボタン・ラジオ	77
カー・オーディオの上手な使い方	79

カセット・ステレオを注文装備されたかたは別冊の取扱書をご覧ください。

アンテナ

▶埋め込み式

LG(ワゴンを除く)、LS、GRサルーン、GR、GL(セダン)に標準装備

STDに注文装備

アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。



ちよつと一言

アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

▶引き出し式

DX

使用時は、いっぱい引き出します。

ラジオ、ステレオ

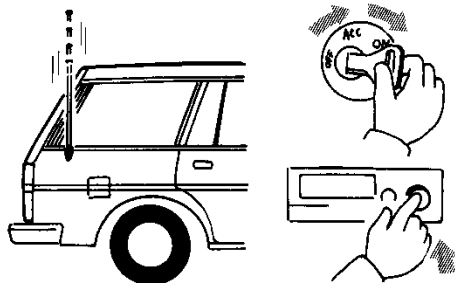


ちよつと一言

1. エンジン停止時はラジオ、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞きください。

▶電動式

LG(ワゴン)、GL(バン)



1. エンジン・スイッチがACCまたはONのとき、ラジオの電源をONにするとアンテナは自動的に上昇します。
2. エンジン・スイッチまたはラジオの電源をOFFにするとアンテナは自動的に下降、収納されます。

2スピーカー電子同調AM/FMマルチ・ラジオ

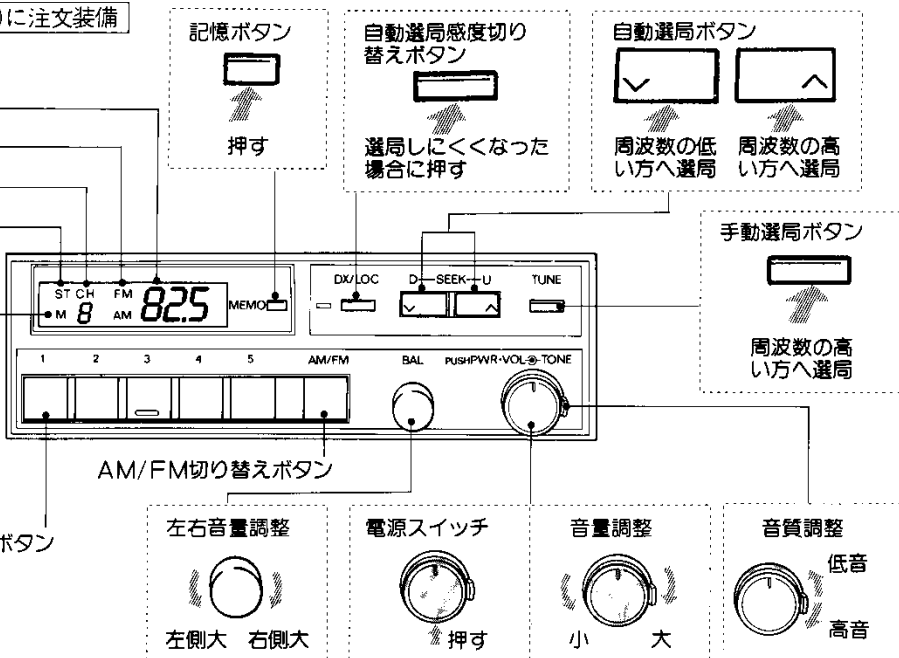
LG、LS、GRサルーン(セダン)、GR、GL(バン、タクシー仕様を除く)に標準装備

GL(バン、タクシー仕様)に注文装備

各部の名称

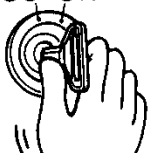
受信周波数表示部
AM/FM放送表示
選局ボタン表示
ステレオ放送受信表示

記憶ボタン表示



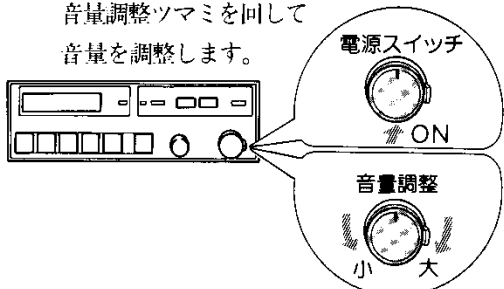
ラジオ放送を聞くには

- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。ACC ON

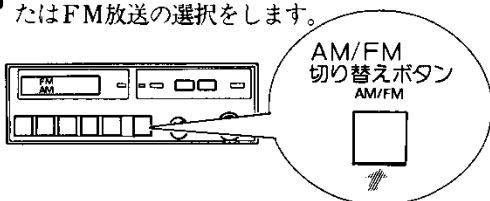


- 2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。

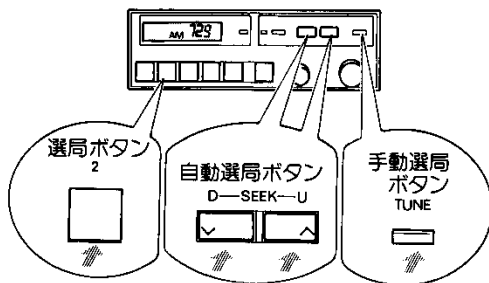
音量調整つまみを回して音量を調整します。



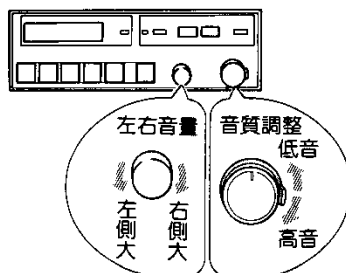
- 3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



- 4 手動選局ボタン、自動選局ボタンまたは選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの<手動選局のしかた>または<自動選局のしかた>、67ページの<選局ボタンのセット>を参照してください。)



- 5 次の調整つまみについてはお好みに応じて調整してください。

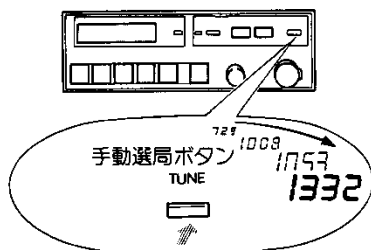


ラジオ、ステレオの使い方

手動選局のしかた

- 1** 手動選局ボタン(TUNE)を押して希望の周波数にあわせませす。

1回押すごとに段階的に周波数が高い方へかわり、押し続けると連続して周波数が高い方へかわります。

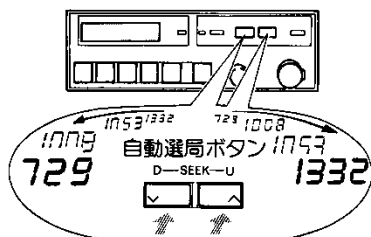


手動選局ボタンを押し続け、最高周波数になると再び最低周波数にもどります。

自動選局のしかた

- 1** 自動選局ボタンを押して手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

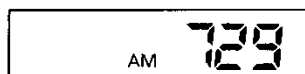
- 周波数の高い方へ選局するときはU側
- 周波数の低い方へ選局するときはD側



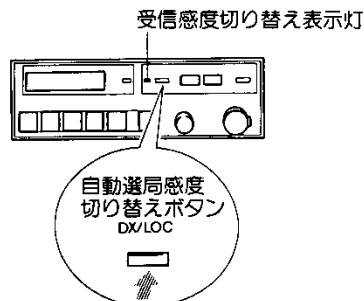
ちょっと一言

自動選局を解除したいときは、手動選局ボタンを押してください。

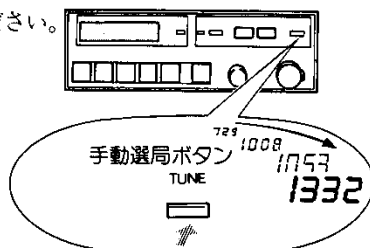
- 2** このとき受信周波数表示部に受信された周波数が表示されます。



- 3** ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しにくくなったときは、自動選局感度切り替えボタンを押してください。

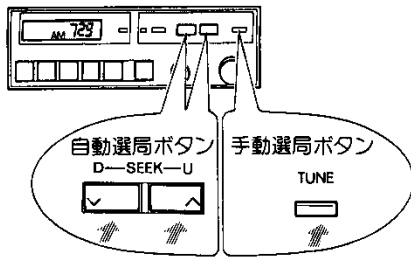


- 4** 自動選局感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局ボタンで選局してください。

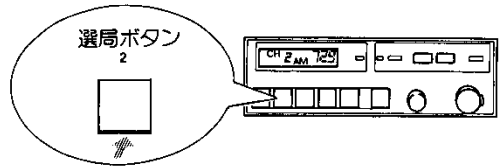


選局ボタンのセット

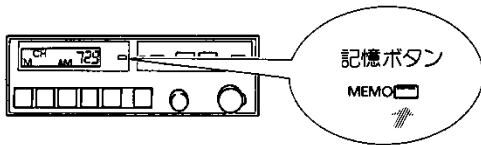
1 手動選局ボタンまたは自動選局ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



3 選局ボタンのうちいずれか1つを押すとそのボタンに放送局が記憶されます。



2 記憶ボタンを押します。



4 選局ボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。
ちよつと言

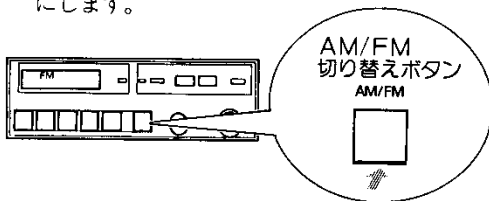
4 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局ボタンで周波数をあわせてセットしておくことができます。

4 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。
ちよつと言

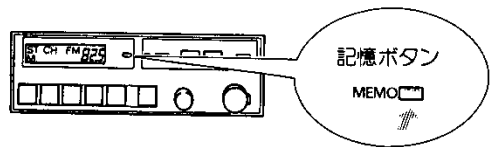
セットの例

選局ボタンの2にNHK-FM(東京)82.5MHzを記憶させる場合は下記手順で行います。

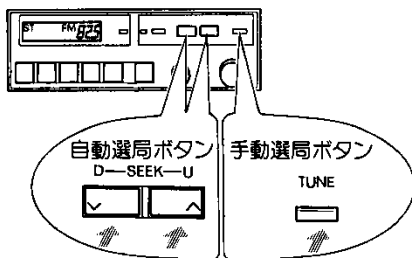
1 AM/FM切り替えボタンを押して、FM放送にします。



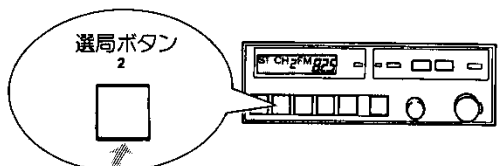
3 記憶ボタンを押します。



2 手動選局ボタンまたは自動選局ボタンで受信周波数(82.5MHz)にあわせます。



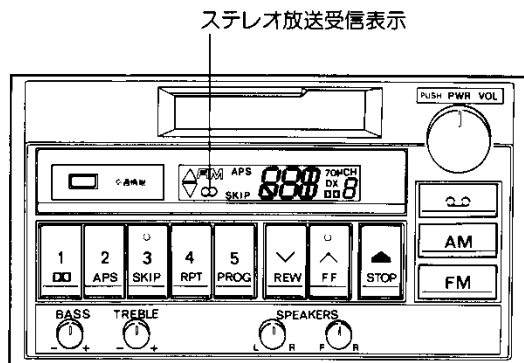
4 選局ボタンの2を押します。同時に選局ボタン表示がチャンネルCH2を表示します。



5 以上の操作で選局ボタンの2にNHK-FM(東京)が記憶できます。

カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

GRサルーン(ハードトップ)

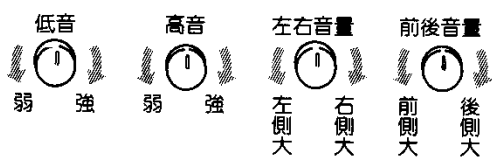
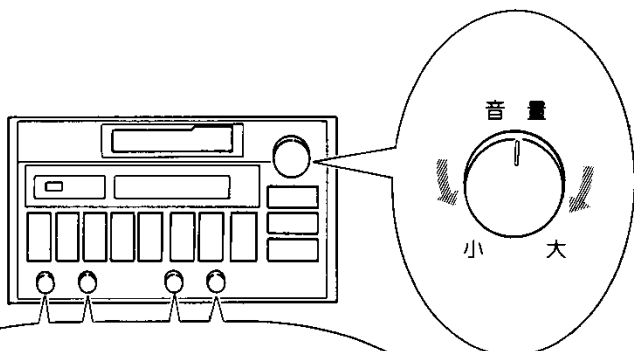


このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

- ▶ 音量、音質調整のしかた……………68
- ▶ ラジオ放送を聞くには……………69
- ▶ 選局のしかた……………70
- ▶ プリセット選局ボタンのセット……………71
- ▶ 交通情報ボタンについて……………72
- ▶ 交通情報ボタンのセット……………72
- ▶ テープを聞くには……………73
- ▶ 早送り、巻きもどしをするには……………74
- ▶ テープを取り出すには……………74
- ▶ 自動選曲のしかた(頭出し)……………75
- ▶ 同じ曲を繰り返して聞きたいときは……………76
- ▶ 無音部分をとばして聞きたいときは……………76

音量、音質調整のしかた

音量、音質調整は次のツマミでお好みに応じて調整してください。



操作をするとき

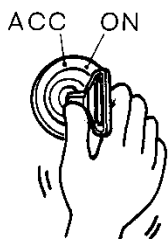
押す → 回す

ツマミを一度押すと、ツマミがとび出して操作しやすくなります。

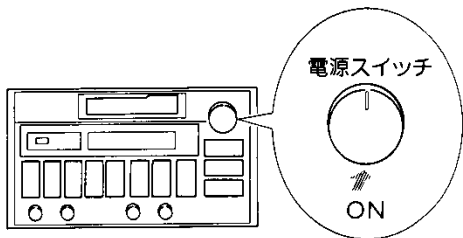
ラジオ、ステレオの使い方

ラジオ放送を聞くには

- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



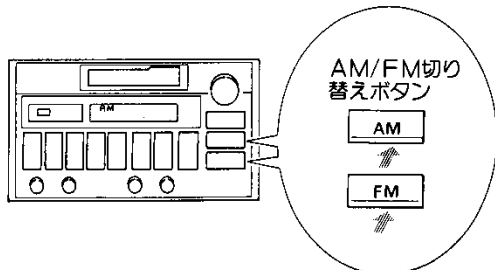
- 2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。



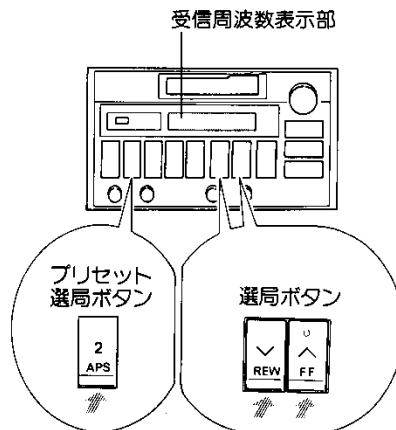
ラジオの電源スイッチがOFFのときAM/FM切り替えボタンを押すと、ラジオの電源がはいります。

ちょっと一言

- 3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



- 4 選局ボタンまたはプリセット選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの「選局のしかた」または71ページの「プリセット選局ボタンのセット」を参照してください。)



- 5 音量、音質調整は68ページの「音量、音質調整のしかた」を参照してください。

選局のしかた

選局ボタンを軽く押すと手動選局として、ピッと音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

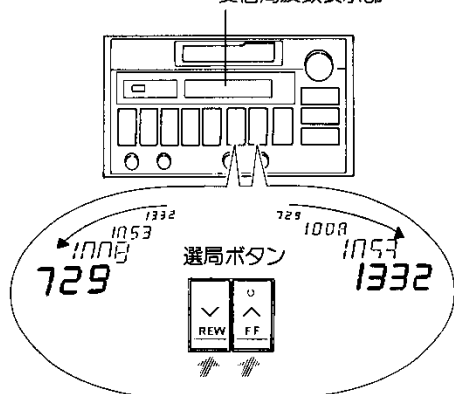
<手動選局のしかた>

① 選局ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせます。

1回押すごとに段階的に周波数が変わります。

- 周波数の高い方へ選局するときは△側
- 周波数の低い方へ選局するときは▽側

受信周波数表示部



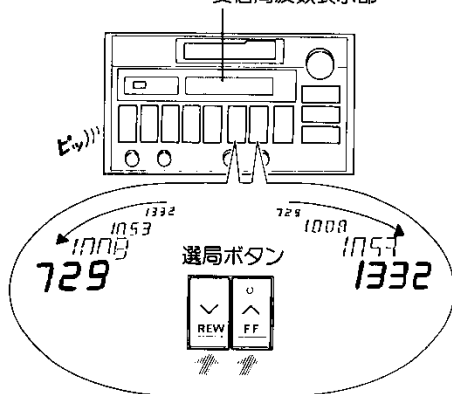
このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

<自動選局のしかた>


① 選局ボタンをピッと音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

- 周波数の高い方へ選局するときは△側
- 周波数の低い方へ選局するときは▽側

受信周波数表示部

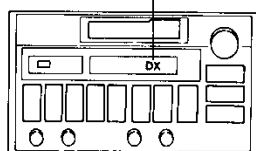



このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

 自動選局を解除したいときは、選局ボタンをもう一度押すと解除できます。
 ちよつと一言

② ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。

自動選局感度表示

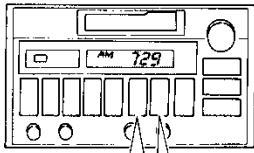


 放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。
 ちよつと一言

自動選局感度表示が点灯しても選局しないときは、選局ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

プリセット選局ボタンのセット

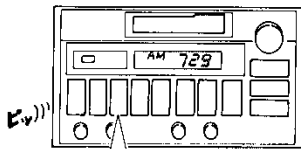
- 1 選局ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



選局ボタン



- 2 プリセット選局ボタンのうちいずれか1つをピッという音がするまで押すとそのボタンに放送局が記憶されます。

プリセット
選局ボタン

ちょっと一言

プリセット選局ボタン1つにつきAM 1局、FM 1局の2局を記憶させることができます。

- 3 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、選局ボタンを軽く押して希望の周波数にセットしておくことができます。



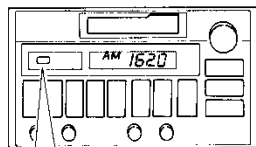
ちょっと一言

車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、プリセット選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度プリセット選局ボタンに記憶しなおしてください。

交通情報ボタンについて

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

- 1** 交通情報ボタンを押すとあらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。(次の<交通情報ボタンのセット>を参照してください。)



交通情報ボタン



- 2** もう一度押すと解除されます。

〔参考〕

道路名	地域	周波数	
国道17号	三國峠	上り線	522KHz
		下り線	1611KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

※新車時は1620KHzにセットしてあります。

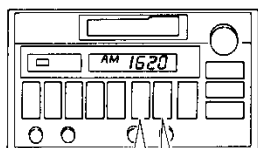


ちょっと一言

1. 交通情報ボタンはAM専用のプリセット選局ボタンとしても使用できます。
2. 放送受信中の場合、選局ボタン、プリセット選局ボタンを押しても作動しません。
3. カセット・テープ再生中に交通情報ボタンを押すとテープの再生は停止します。

交通情報ボタンのセット

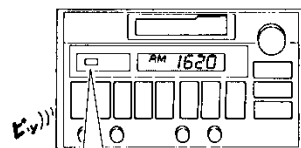
- 1** 選局ボタンで記憶させたい交通情報局を受信します。



選局ボタン



- 2** 交通情報ボタンをピッと音がするまで押し続けると記憶されます。



交通情報ボタン

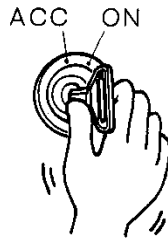


ちょっと一言

1. FM放送電波を記憶させることはできません。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断られた場合、周波数は1620KHzにセットされます。

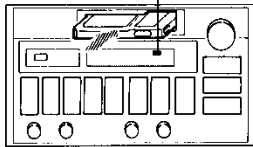
テープを聞くには

- ① エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



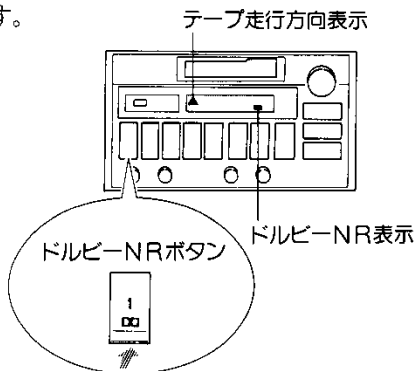
ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

- ② テープ差し込み口にテープを差し込みます。
メタル・クローム・テープ表示



メタル・テープおよびクローム・テープを差し込むと表示が点灯します。

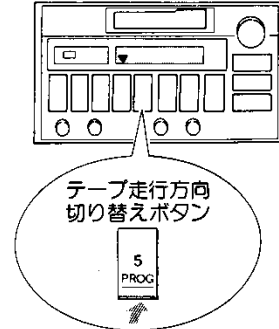
- ③ ドルビー(B)NR※で録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。



※ドルビーは、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

- ④ 音量、音質調整は68ページの<音量、音質調整のしかた>を参照してください。

- ⑤ 再生途中でテープの走行方向をかえたいときは、テープ走行方向切り替えボタンを押します。

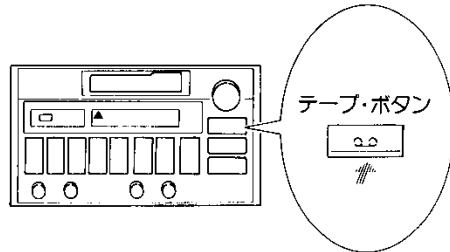


テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバース機構)



ちょっと一言

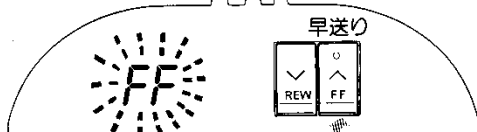
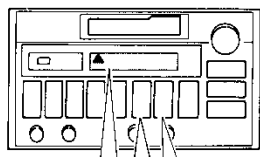
1. テープ再生中にラジオの電源スイッチまたはAM/FM切り替えボタンを押すと、テープの再生は停止します。再びテープを再生したいときはテープ・ボタンを押してください。



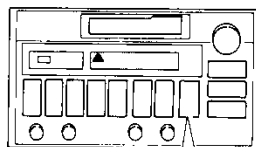
2. テープ再生中に交通情報ボタンを押すと、テープの再生は停止します。テープを再生したいときは、もう一度交通情報ボタンを押すか、テープ・ボタンを押してください。

早送り、巻きもどしをするには

1 早送りがしたいときは早送りボタン (FF) を、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタン (REW) を押します。

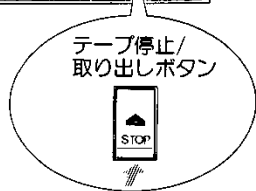
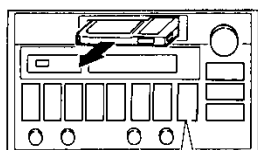


2 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止/取り出しボタンを押します。



テープを取り出すには

テープ停止/取り出しボタンを押すとテープが自動的に手前に押し出されます。



ちょっと一言

カセット・テープをいれたままエンジン・スイッチをOFFにしても、1回だけ取り出し操作が行えます。



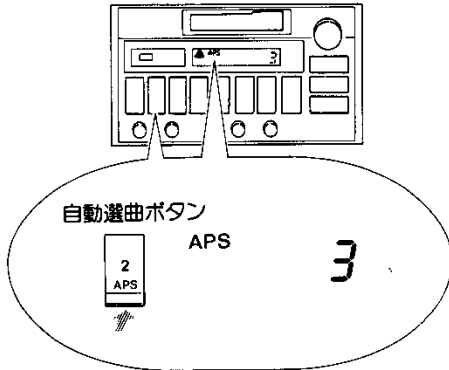
注意!

本機とカセットを保護するため、テープ停止/取り出しボタンを押してもカセット・テープが手前に押し出されないときは、異常検出機構が働きデッキの機能が停止します。この状態になったらトヨタ販売店へご連絡ください。

自動選曲のしかた(頭出し)

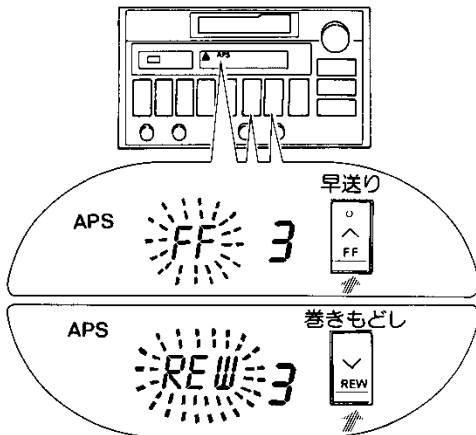
いまお聞きになっている曲の前後、9曲の中から希望曲の頭出しができます。

- 1 頭出しをしたい曲の曲数だけ(3曲目の場合
は3回)自動選曲ボタンを押します。



自動選曲ボタンのセットはテープ再生中に行ってください。

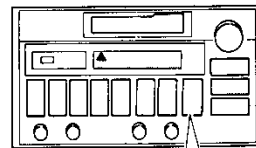
- 2 希望曲まで早送りするときは早送りボタン(F.F)を、巻きもどしをするときは巻きもどしボタン(REW)を押すと、希望した曲の頭でテープは止まり、演奏が始まります。



ちょっと一言

1. 巻きもどしの場合は、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記のようになりません。
 - 早送りのときはテープ反対側の1曲目から演奏されます。
 - 巻きもどしのときは同じ側の1曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

- 3 自動選曲を解除したいときは、テープ停止/取り出しボタンを押します。



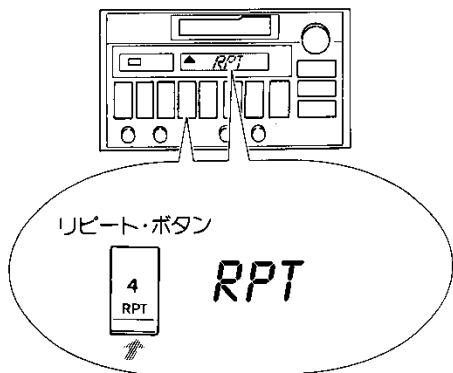
テープ停止/
取り出しボタン



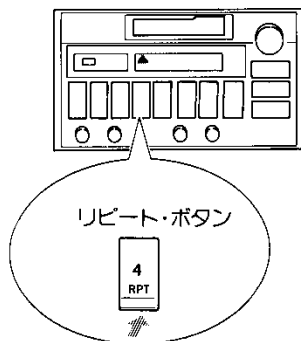
同じ曲を繰り返して聞きたいときは

リピート・ボタンを押すと同じ曲を何度も繰り返して聞くことができます。

- ① お気に入りの曲が演奏されているときにリピート・ボタンを押すと、その曲の演奏終了後自動的に巻きもどされて、曲の初めから再び演奏を始めます。



- ② 繰り返し作動を解除したいときは、もう一度リピート・ボタンを押します。

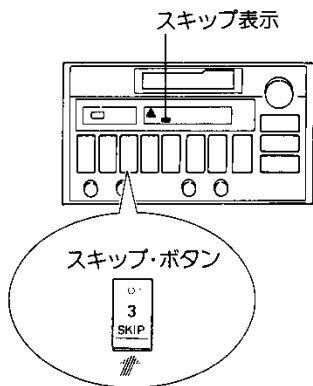


曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音がある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

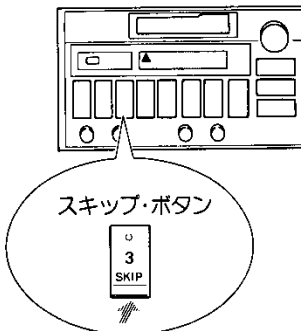
無音部分をとばして聞きたいときは

スキップ・ボタンを押すと無音部分をとばして聞くことができます。

- ① スキップ・ボタンを押してあれば無音部分が約12秒以上の場合、自動的に早送りして曲の頭出しを行うことができます。



- ② スキップ作動を解除したいときは、もう一度スキップ・ボタンを押します。

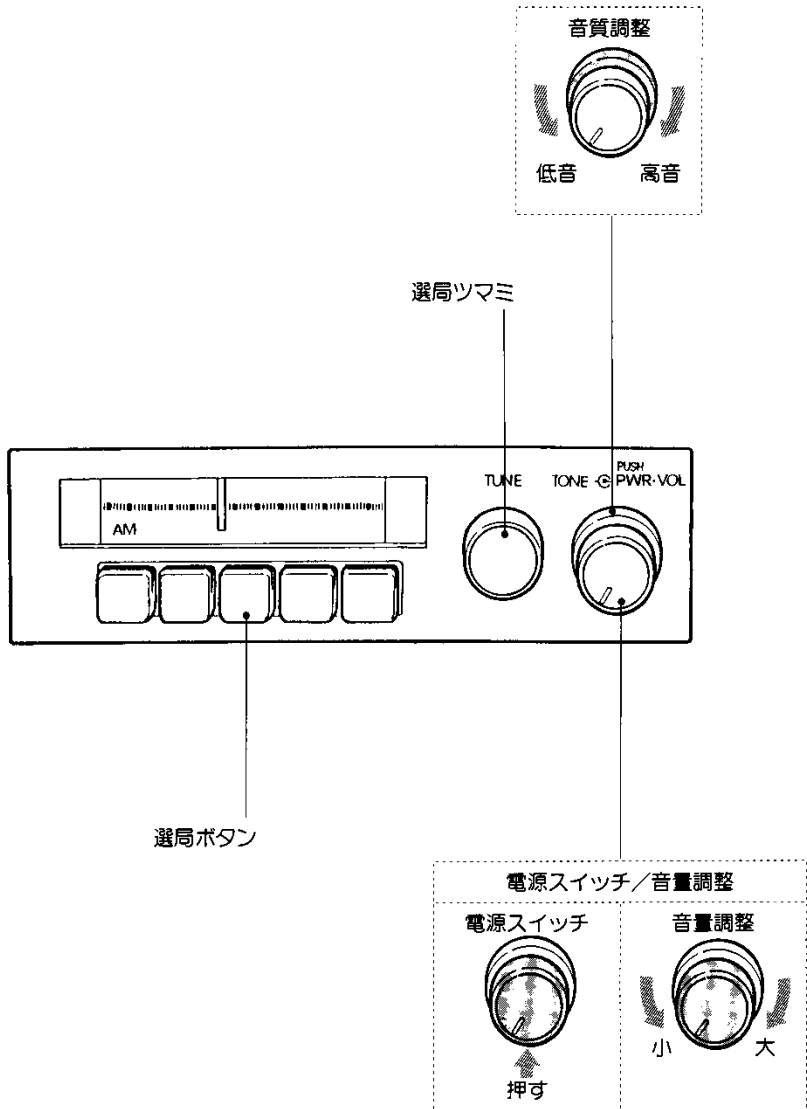


1. 曲と曲の間に雑音があるテープや曲の初めと終わりが明確でないテープは正常に作動しないことがあります。
2. テープが終端になると自動的に反対側になり1曲目の初めから演奏を始めます。

2スピーカーAM5ボタン・ラジオ

バン、GL(タクシー仕様)に標準装備 | STDに注文装備

▶各部の名称



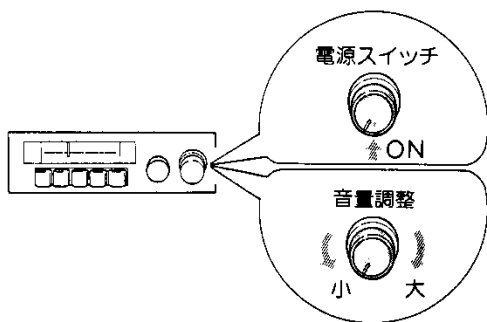
ラジオ、ステレオの使い方

ラジオ放送を聞くには

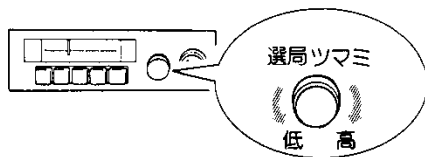
- 1** エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



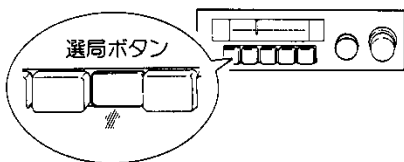
- 2** 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。音量調整ツマミを回して音量を調整します。



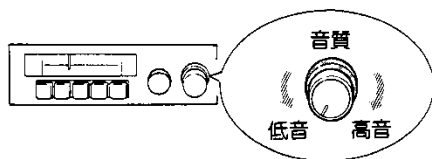
- 3** 選局ツマミを回して希望の局を選びます。



選局ボタンをあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。次の〈選局ボタンのセット〉を参照してください。

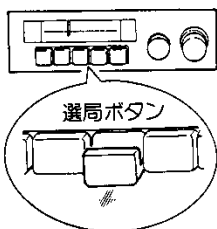


- 4** 音質調整ツマミは、お好みに応じて調整してください。

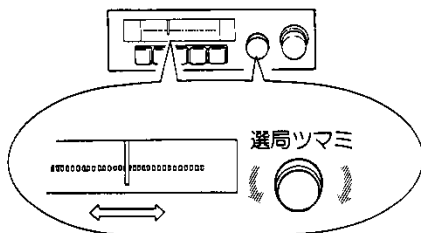


選局ボタンのセット

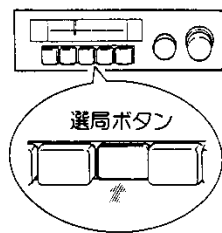
- 1** 選局ボタンの1つを、いっばいに引き出します。



- 2** 選局ツマミで、選局指針を希望の局にあわせます。



- 3** 引き出した選局ボタンをいっばいに押し込みます。



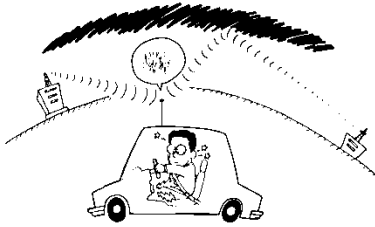
以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信します。他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

カー・オーディオの上手な使い方

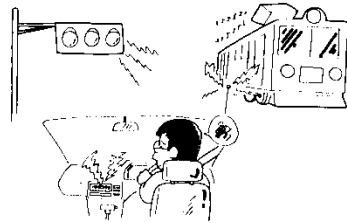
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

1 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。

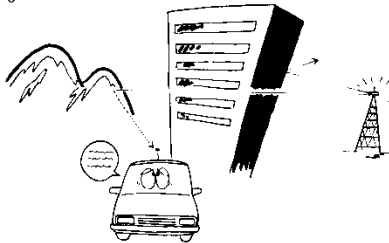


2 電車や信号機の近くを走行すると雑音が多い場合があります。



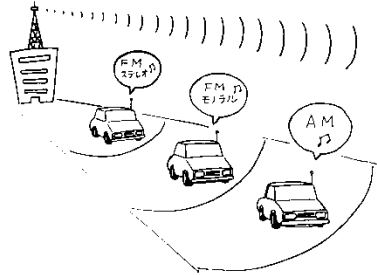
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音が多いりやすくなります。



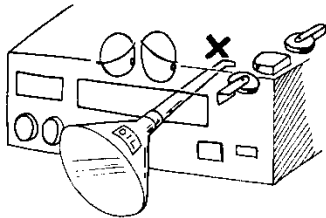
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか?

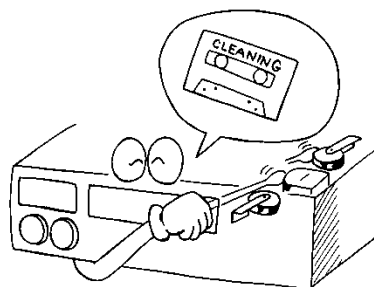


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか?

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

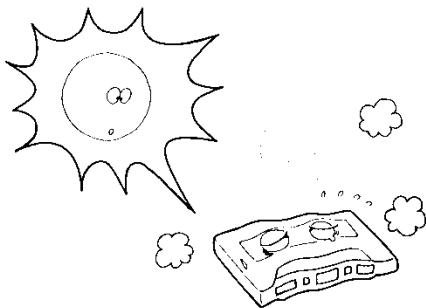
よごれていませんか?



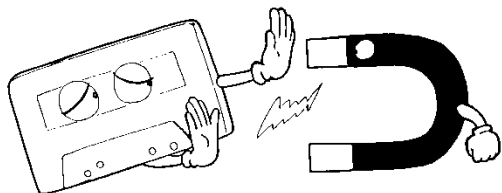
ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

カセット・テープを長持ちさせるには

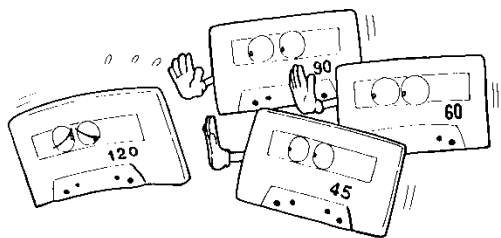
置いていませんか?



カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

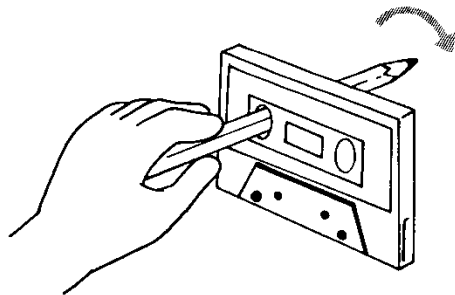


使っていませんか?



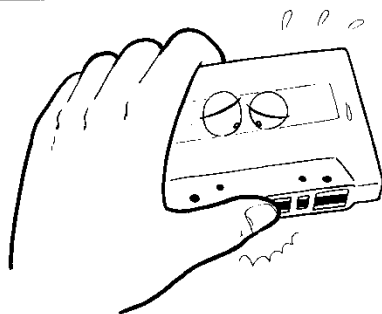
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがけこるんでいませんか?



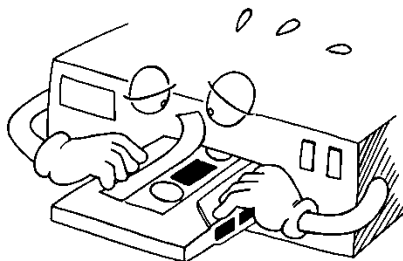
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか?



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

はがれていませんか?



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。